

特集

安いで希望に満ちた暮らしをつくる

熊本地震からのすまいの再建を後押し

4つの支援



©2010 熊本県くまモン

支援策1 自宅再建がしたい方へ

～60歳以上の方にうれしいニュース～ 毎月約1万5千円で家が持てる

リバースモーゲージ(高齢者向け返済特例)を利用する自宅再建を後押しするため、一定額までの借入れに対する**利子分を助成**します。

リバースモーゲージとは?



850万円融資で試算した場合
月々の返済(実質負担)約15,000円
＝災害公営住宅の最低家賃並み

支援策2 自宅再建がしたい方へ

～利子負担をゼロ～ 毎月の返済額を約2万円に

子育て世帯をはじめ多くの自宅再建を後押しするため、くまもと型復興住宅をモデルとして、一定額までの借入れに対する**利子分を全額助成**します。

(本県が推奨する「くまもと型復興住宅」を建設する場合)

約450万円 自己資金など	借入 約850万円 住宅金融支援機構(災害復興住宅融資)など
建設費 約1,300万円(税、付帯設備などを含む)	

9月1日時点での金利(0.63%)で試算した場合
850万円借入 35年ローン(元利均等) 利子額100万円程度を一括で助成

月々の返済(実質負担)約20,000円で自宅再建が可能に
※対象となる借入限度額 850万円

○対象世帯 基本的に世帯収入が500万円以下。子どもの数により収入要件が緩和されます

支援策3 民間賃貸住宅へ入居したい

賃貸住宅への入居費用を助成

民間賃貸住宅への入居の際、入居時の初期費用について、**一律20万円を助成**します。



支援策4 転居に際する支援

引っ越し際の転居費用を助成

応急的な住まいから民間の賃貸住宅、公営住宅、自宅へと引っ越し際の費用について、**一律10万円を助成**します。



再建に関するお問い合わせは…
熊本県すまい対策室 ☎096-333-2821

すまいの再建

くまもと暮らし安心システム(地域包括ケア等)の構築

「地域包括ケアシステム※1」を基本として、幅広い世代が健康づくりに取り組み、高齢者が希望に応じて活躍できる地域のシステムづくりを進めています。現在、天草市と山都町でモデル事業を実施中で、今後その成果を広げていきます。

※1「地域包括ケアシステム」とは、できる限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしができるよう、医療や介護、生活支援などの包括的なサービスを提供するシステムです。

在宅医療



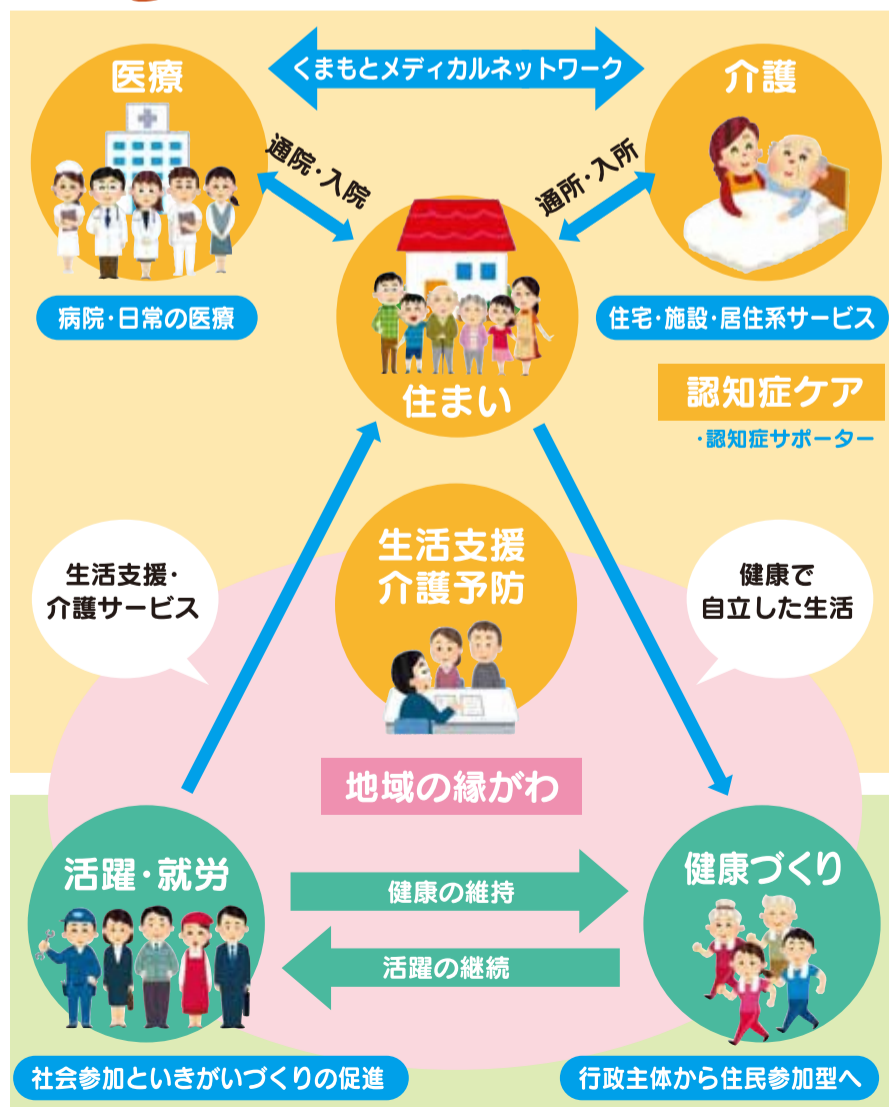
自宅などで療養を望まれる方に、医師による訪問診療や訪問看護などの在宅医療を提供する体制を整備しています。

活躍・就労

高齢者の希望や能力を生かしながら就労機会を拡大する“いきがい就労”の取り組みを進めます。



※2 ハローワーク、シルバー人材センター、高齢者無料職業紹介所などの機関



医療と介護を結ぶ「くまもとメディカルネットワーク」

県内の医療・介護関係者がICT(情報通信技術)を活用して患者・利用者情報を共有するシステムです。病院、診療所、介護施設、自宅などで、状態に応じた医療や介護を受けることができます。

生活支援

見守りや買い物支援など生活上のちょっとした困りごとを、地域住民が互いに支え合う活動を進めています。



高齢者の代わりに買い物をして届ける住民。お礼の地域通貨券で地元商店も活性化しています(天草市社会福祉協議会のほっと安心サポート事業)。

【お問い合わせ】
熊本県健康福祉政策課 ☎096-333-2193

誰もが働きやすい環境づくり

仕事と子育ての両立支援や働きやすい環境づくりを進め、オール熊本で県民の総幸福量の最大化を目指します。

「よかボス」を県全体に広めます

知事、副知事が「よかボス」宣言を行いました!



左から、小野副知事、蒲島知事、田嶋副知事

放課後児童クラブ

子どもの健全育成および保護者の仕事と家庭の両立を支援するため、児童にとっても安心・安全な居場所である放課後児童クラブの確保・充実に取り組んでいます。



【お問い合わせ】熊本県子ども未来課 ☎096-333-2225

「よかボス」とは?

自ら仕事と生活の充実に取り組むとともに、共に働く社員の仕事と、結婚や子育てなど、生活の充実を応援するボスのこと。

「よかボス企業」募集中!

企業の経営者が「よかボス宣言」をし、県へ申請すると「よかボス企業」として登録されます。詳しくは、県のホームページで検索。

よかボス企業

「よかボス企業」を、Facebookで紹介します



子どもの未来を応援するモン!
Facebook

左のQRコードからアクセスできます